◇┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳┳◆

**食科協かわら版　No.316　（2021年度No.36）**　 　2021/11/19

食の行政情報ならびに食中毒情報及びコロナ関係通知をお伝えする食科協のメールマガジン

食中毒情報は１回限り　行政情報は原則2回の掲載で削除します

新しいものは*NEW*マークがついております　期限設定のある記事は　期限終了まで掲載

**青字をスクロール　Ctrlキーを押しながらクリック　もしくは右クリックでハイパーリンクを開く**

◇┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻┻◆

**次回は「ハイイロシメジ」**

|  |  |
| --- | --- |
| **目次** | **ページ** |
| 1. [**食科協関係**](#食科協関係)**事業経過等　+東京都関係** | **2** |
| **2**[**厚生労働省関係**](#厚生労働省関係) | **2-9** |
| **3**[**食品安全委員会関係**](#食品安全委員会関係) | **9-10** |
| **4**[**農水省関係**](#農水省関係) | **10-18** |
| **5**[**消費者庁関連**](#消費者庁関連)**リコール情報** | **18-20** |
| **6**[**食中毒・感染症**](#食中毒・感染症)  **細菌性食中毒→ウイルス性食中毒→寄生虫→自然毒→感染症→違反品の回収→他**  **各項目発生順で記載　菌種については月により掲載位置が変動しています** | **20-27** |

**１．****[食科協関係](#食科協関係)**

11月12日　かわら版315号・かわら版ニュース＆トピックス186号を発行。

11月16日　かわら版ニュース＆トピックス187号を発行。

11月17日　公開講演会開催、第二回理事会開催。

11月19日　かわら版316号・かわら版ニュース＆トピックス188号を発行。

**公開講演会は無事に終了いたしました　ありがとうございました**

**新型コロナウイルス情報はホームページに移行しました**

**今後は行政情報については毎日　コロナの発生率については週一回の更新になります**

**行政情報については　今までより少し情報提供が早くなります**

**２.****[厚生労働省関係](#厚生労働省関係)**　<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

**★***Link***傍聴・参加が可能な審議会等の会議一覧　ご案内しきれないときもございます**<https://www.mhlw.go.jp/topics/event/open_doors.html>

**★***Link***副反応疑い報告の状況について（とても詳しい資料です）**

**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>

**■***NEW***「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件（案）」（農薬等（アルベンダゾール等９品目）の残留基準の改正等）に関する御意見の募集について　2021/11/12**

**R3.11.12～R3.12.11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/kodomo/syoku-anzen/public.html>

**■***NEW***第２６回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会　資料　2021/11/15**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000192554_00014.html>

**■***NEW***令和３年度第１回化学物質のリスク評価検討会（ばく露評価小検討会）資料　2021/11/15**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22212.html>

**■***NEW***体外診断用医薬品自主回収のお知らせ（クラスII）**

**(販売名：クイックナビ™－ＣＯＶＩＤ１９　Ａｇ)　2021/11/15**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22220.html>

　本日、新潟県より、別添のとおり、デンカ株式会社が下記の体外診断用医薬品（抗原簡易キット）の自主回収に着手した旨の情報提供がなされましたので、お知らせいたします。

　本製品については、11月８日より15分で判定する製品の一部ロットを対象に自主回収が行われていますが、デンカ株式会社が継続的な調査を実施したところ、８分で判定する製品についても、一部ロットにおいて時間の経過とともに偽陽性率が高まる兆候が確認されたため、以下の製品まで対象を拡大し自主回収が行われるものです。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

一般的名称： SARSコロナウイルス抗原キット

販売名： クイックナビTM-COVID19 Ag

回収対象数量： 91,700箱（917,000個）

出荷時期： 2021年７月５日～2021年８月３日

新潟県及びデンカ株式会社報道発表資料

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/000854799.pdf>

**■***NEW***第72回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第22回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）　資料　2021/11/12**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000208910_00034.html>

**■第140回労働政策審議会安全衛生分科会議事録　2021/11/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22170.html>

**■多様化する労働契約のルールに関する検討会　第９回資料　2021/11/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22131.html>

**■第８回多様化する労働契約のルールに関する検討会（議事録）　2021/11/11**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22129.html>

**■輸入食品に対する検査命令の実施　2021/11/10**

**（インドネシア産コーヒー豆、その加工品、台湾産ウーロン茶、その加工品及び中国産そば）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22101.html>

本日、以下のとおり輸入者に対して、食品衛生法第26条第３項に基づく検査命令（輸入届出ごとの全ロットに対する検査の義務づけ）を実施することとしたので、お知らせします。

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト

自動的に生成された説明

　イソプロカルブについて

１．農薬（殺虫剤）

２．許容一日摂取量（人が一生涯毎日摂取し続けても、健康への影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、体重１kg当たり0.004 mg/日です。

３．現実的ではありませんが、体重 60 kg の人が、イソプロカルブが0.03 ppm残留したコーヒー豆を毎日 ８ kg摂取し続けたとしても、一生涯の平均的な摂取量が許容一日摂取量を超えることはなく、健康に及ぼす影響はありません。

カルバリルについて

１．農薬（殺虫剤）

２．許容一日摂取量（人が一生涯毎日摂取し続けても、健康への影響がないとされる一日当たりの摂取量）は、体重１kg当たり0.0073 mg/日であり、急性参照用量（人が24時間または、それより短い時間の間の経口摂取により、健康に影響がないとする摂取量）は、体重１kg当たり0.01 mgです。

３．現実的ではありませんが、体重 60 kg の人が、カルバリルが0.08 ppm残留したウーロン茶を毎日 5.4 kg摂取し続けたとしても、一生涯の平均的な摂取量が許容一日摂取量を超えることはなく、また、１日に 7.5 kg摂取したとしても、急性参照用量を超えることはなく、健康に及ぼす影響はありません。

アフラトキシンについて

　　発がん性を有するカビ毒（アスペルギルス属の真菌により産生される）の一種。

インドネシア産コーヒー豆の違反の内容

１．品名：コーヒー豆

　　輸入者：丸紅株式会社

　　輸出者：PT.INDRA BROTHERS

　　届出数量及び重量：1,000 バッグ、59,689.70 kg

　　検査結果：イソプロカルブ 0.03 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年９月12日

　　違反確定日：令和３年９月30日

　　貨物の措置状況：全量保管中

２．品名：コーヒー豆

　　輸入者：三井物産株式会社

　　輸出者：PT. BERINDO JAYA

　　届出数量及び重量：318 バッグ、19,017.00 kg

　　検査結果：イソプロカルブ 0.02 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年９月25日

　　違反確定日：令和３年11月４日

　　貨物の措置状況：全量保管中

参考：インドネシア産コーヒー豆の輸入実績（令和２年４月１日から令和３年11月３日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

台湾産ウーロン茶の違反の内容

１．品名：ウーロン茶

　　輸入者：株式会社 YIF International

　　製造者：YEUAN YEOU ENTERPRISE CO.,LTD.

　　届出数量及び重量：２ CT、18.00 kg

　　検査結果：カルバリル 0.03 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：横浜検疫所

　　日本への到着年月日： 令和３年８月28日

　　違反確定日：令和３年10月８日

　　貨物の措置状況：全量保管中

２．品名：ウーロン茶

　　輸入者：日本緑茶センター株式会社

　　製造者：SONGFU TEA FACTORY

　　届出数量及び重量：90 CT、1,620.00 kg

　　検査結果：カルバリル 0.08 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：名古屋検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年10月16日

　　違反確定日：令和３年11月４日

　　貨物の措置状況：全量保管中

３．品名：ウーロン茶

　　輸入者：株式会社DHA Corporation

　　製造者：T.C.D.COMMERCIAL CO.,LTD

　　届出数量及び重量：50 PC、2.50 kg

　　検査結果：カルバリル 0.07 ppm 検出(基準：0.01 ppm)

　　届出先：東京検疫所

　　日本への到着年月日：令和３年10月21日

　　違反確定日：令和３年11月４日

　　貨物の措置状況：全量保管中

参考：台湾産ウーロン茶の輸入実績（令和２年４月１日から令和３年11月３日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

中国産そばの違反の内容

　品名：そば

　輸入者：株式会社新糧

　輸出者：OTAKI WENGNIUTE THOUSANDS XIANG INDUSTRY & TRADE CO.,LTD.

　届出数量及び重量：40 バッグ、40,000.00 kg

　検査結果：アフラトキシン 11 μg/kg検出 (基準：含有してはならない)

　届出先：横浜検疫所

　日本への到着年月日：令和３年10月12日

　違反確定日：令和３年11月４日

　貨物の措置状況：全量保管中

参考：中国産そばの輸入実績（令和２年４月１日から令和３年11月３日まで：速報値）

テーブル

自動的に生成された説明

**■食品に残留する農薬、飼料添加物又は動物用医薬品の成分である物質の試験法　2021/11/9**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/zanryu/zanryu3/siken.html>

**■体外診断用医薬品自主回収のお知らせ（クラスII）　2021/11/8**

　　本日、新潟県より、別添のとおり、デンカ株式会社が下記の体外診断用医薬品（抗原簡易キット）の自主回収に着手した旨の情報提供がなされましたので、お知らせいたします。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　記

一般的名称：SARSコロナウイルス抗原キット

販売名：クイックナビTM-COVID19 Ag

回収対象数量：130,000箱（1,300,000個）

出荷時期：2020年12月14日～2020年12月25日

　　なお、本回収に係る抗原簡易キットについては、「医療機関・高齢者施設等への抗原簡易キット配布事業について」（令和３年６月９日付厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部事務連絡）に基づく配布事業において、上記1,300,000個のうち1,201,300個が配布されております。配布済みの抗原簡易キットについては、厚生労働省等からデンカ株式会社に対し配布先リストの送付等を行い、費用負担も含めデンカ株式会社の責任の下で新しい抗原簡易キットの交換が行われる予定です。

　新潟県及びデンカ株式会社報道発表資料

<https://www.mhlw.go.jp/content/11126000/000852471.pdf>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22115.html>

**■大麻成分THCを含有する製品について　2021/11/8**

　　本年6月、一般の方から「株式会社Pharma Hemp Japan（所在地：東京都大田区）が販売しているCBD製品の中に、大麻成分THC（テトラヒドロカンナビノール）が含まれている可能性がある。」旨情報提供を受けました。このため当省では、同社の協力を得て、同社が販売するCBD製品21種類21製品（別紙をご覧ください。）の提出を受け、成分の分析を行いました。

　分析の結果、

　 　 CBD DROPS 15% HEMP SEED OIL

CBD DROPS 15% OLIVE OIL

CBD PASTE 20%

CBD PASTE 30%

CBD PASTE 40%

の５種類５製品（対象となる製品の詳細は、別紙をご覧ください。）から、微量の大麻成分THCが検出されました。

　THCを検出した製品は大麻取締法上の「大麻」に該当する疑いがある製品であることから、厚生労働省ホームページにおいて、その旨を掲載し、上記５製品が手元に残っている購入者の方々、または販売事業者の方々におかれましては、最寄りの地方厚生局麻薬取締部、都道府県衛生主管部（局）薬務主管課または保健所まで提出していただくようお願いしました。（下記URLをご参照ください。）

なお、現在までに、国内において同製品を摂取したことによる健康被害が発生した例は承知しておりません。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iyakuhin/yakubuturanyou/other/torishimari_00002.html>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22024.html>

**■第７回厚生労働省改革実行チーム　資料　2021/11/8**

<https://www.mhlw.go.jp/houdou_kouhou/gyouji_kaigi/kaikaku07.html>

**■令和３年度第１回化学物質のリスク評価検討会（発がん性評価ワーキンググループ）　議事録　2021/11/8**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22122.html>

**■厚生労働省を名乗る者からの電話にご注意ください　2021/11/5**

　　厚生労働省を名乗る者から、民間事業主に、「パワハラなどハラスメント防止の推進企業の認定制度がある。来社して説明させてほしい」と電話が入る事案が発生しています。

　　厚生労働省は、現在、ハラスメント防止に関する認定制度を創設しておりません。また、厚生労働省や都道府県労働局の職員がこのような電話をすることもありません。

　事業主の皆さまは、このような電話があっても対応をしないようにお願いします。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22091.html>

**■令和３年10月22日　第71回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和３年度第20回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）議事録　2021/11/5**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21866.html>

**■令和３年度　今冬のインフルエンザ総合対策について　2021/11/5**

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/influenza/index.html>

**■***NEW***食品中の放射性物質の検査結果について（１２６２報）　2021/11/17**

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　２件**

**No. 1　　長野県産　　ハナイグチ 　　　 （Cs：120 Bq/kg）　軽井沢町**

**No. 49　　宮城県産　　マツタケ　　 　　 （Cs：290 Bq/kg）　気仙沼市**

**２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果**

**※ 基準値超過　３件**

**No. 9　　岩手県産　　クロカワ　　　　　　　（Cs：160 Bq/kg）　盛岡市**

**No. 10　　岩手県産　　ムレオオフウセンタケ　（Cs：140 Bq/kg）　雫石町**

**No. 11　　産地不明　　コウタケ　　　　　　　（Cs：150 Bq/kg）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22039.html>

**■食品中の放射性物質の検査結果について（１２６１報）　2021/11/11**

**１　自治体の検査結果**

**※ 基準値超過　６件**

**No. 49　　山形県産　　コウタケ　　　　　　（Cs：140 Bq/kg）　山形市**

**No. 123　　群馬県産　　ハナイグチ　　　　　（Cs：280 Bq/kg）　草津市**

**No. 125　　群馬県産　　アカモミタケ　　　　（Cs：510 Bq/kg）　川場村**

**No. 126　　群馬県産　　クリタケ　　　　　　（Cs：110 Bq/kg）　川場村**

**No. 130　　群馬県産　　ハナイグチ　　　　　（Cs：400 Bq/kg）　中之条町**

**No. 133　　群馬県産　　チャナメツムタケ　　（Cs：350 Bq/kg）　片品村**

**２　緊急時モニタリング又は福島県の検査結果**

**※ 基準値超過　２件**

**No. 44 　　群馬県産 　　コウタケ 　　　　　 （Cs：470 Bq/kg）　川場村**

**No. 45 　　群馬県産 　　コウタケ　　　 　　（Cs：930 Bq/kg）　中之条町**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_21850.html>

**■***NEW***食品安全情報（微生物）No.23/ 2021（2021.11.10）**

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf%20)

目次

**【世界保健機関（WHO）】**

1. 国際保健規則 2005（IHR 2005）の施行に関する能力の評価：年次報告書および合同外部評価のデータの比較

**【米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）】**

1. サルモネラ汚染の可能性により米国農務省食品安全検査局（USDA FSIS）がスティックサラミ製品に関する公衆衛生警報を発表

**【米国疾病予防管理センター（US CDC）】**

1. スティックサラミに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（Salmonella I 4,[5],12:i:-）感染アウトブレイク（2021 年 10 月 28 日付更新情報、23 日付初発情報）

2. タマネギに関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（ SalmonellaOranienburg）感染アウトブレイク（2021 年 10 月 29 日付更新情報）

3. Jule’s ブランドのチーズ代替品 cashew brie に関連して複数州にわたり発生したサルモネラ（Salmonella Chester、S. Duisburg、S. Typhimurium、S. Urbana）感染アウトブレイク（2021 年 7 月 7 日付最終更新）

4. 野生の鳴禽類に関連して発生したサルモネラ（Salmonella Typhimurium）感染アウトブレイク（2021 年 5 月 28 日付最終更新）

**【欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）】**

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

**【欧州食品安全機関（EFSA）】**

1. 抗菌剤耐性菌による動物疾患の評価：家禽

**【英国保健安全保障局（UK HSA）】**

1. 英国の微生物学的調査の基準 （ UK SMI ： UK Standards for Microbiology Investigations）に関するガイダンス（科学的情報）

**【ProMED-mail】**

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（40）（39）

[http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf](http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123m.pdf%20)

**■***NEW***食品安全情報（化学物質）No.23/ 2021（2021.11.10）**

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123c.pdf>

**＜注目記事＞**

**【EPA】 EPA は科学を進歩させ PFAS 汚染から地域をより良く守るための重要なステ**

**ップを発表**

米国環境保護庁（EPA）は、パー及びポリフルオロアルキル化合物（PFAS）に含まれる GenX 化合物に関する最終的なヒト健康毒性評価の結果を発表した。GenX は炭素原子6 個の「短鎖」PFAS である。EPA が GenX 化合物に対して導出した慢性及び亜慢性の経口参照用量（RfD）は、これまでに導出したパーフルオロオクタン酸（PFOA）、パーフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びパーフルオロブタンスルホン酸（PFBS）の慢性RfD よりも低かった。ただし、EPA は現在 PFOA と PFOS の毒性の再評価を行っており、それらの慢性 RfD は変更される可能性があるとしています。

**＊ポイント：** GenX は、炭素原子 8 個の長鎖 PFAS である PFOA の代替品として開発・使用されてきた短鎖 PFAS です。米国内の河川から広く検出され、動物試験において有害影響の可能性が疑われたことなどを受けて数年前から話題になっていました。現在EPA は PFAS の飲料水規制を検討しており、2022 年春に GenX や PFBS も含めた PFAS化合物に関する飲料水衛生助言（非規制）の公表、同年秋に飲料水規則原案の提示、2023年秋に最終規則の公布を予定しているとのことです。

**【CDC】 CDC は子供の血中鉛濃度参照値を更新**

米国疾病予防管理センター（CDC）は、血中鉛濃度参照値（BLRV）を 5 µg/dL から3.5 µg/dL に更新する。この値は、直近 2 回分の米国国民健康栄養調査で得られた米国の子供（1-5 才）の血中鉛濃度データ分布の 97.5 パーセンタイルに基づく。BLRV は、毒性学的閾値というわけではなく、集団の測定値から導出された値であり、個々の子供に対して医学的又は環境的なフォローアップ活動を開始すべきかの決定、また暴露への一次予防が最も必要とされる集団の優先順位付けと予防措置の有効性評価のための指針値となる。

**＊ポイント：** 2021 年 10 月 24-30 日が第 8 回国際鉛中毒予防週間だったこともあり、各国から鉛汚染への対応に関する記事が公表されています。米国では鉛塗料が使用されている建築物や、鉛を含む水道管がまだ残っていることもあり、鉛暴露への対策は国家的な課題の一つになっています。

**【EC】 二酸化チタンに関する Q&A**

2021 年 10 月 7 日に食品添加物である二酸化チタンの使用認可を取り下げるという欧州委員会の提案を EU 加盟国が了承したことを受け、今後数週間のうちに欧州議会及び理事会がこの規則案に対して意見を述べる可能性がある。反対意見が出なければ、規則案は2022 年初めに採択されると予測される。発効後の移行期間は 6 ヶ月間を予定している。

**＊ポイント：** 現在 WTO へも通知されて 12 月まで（2 ヶ月間）意見を募集中です。根拠となった欧州食品安全機関（EFSA）の評価結果を諸外国のリスク評価機関がレビューしているところですが、それらの結論が公表される前に EU では認可取り下げとなり、貿易にも影響が出るかもしれません。

<http://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/2021/foodinfo202123c.pdf>

**3.****[食品安全委員会関係](#食品安全委員会関係)**　<https://www.fsc.go.jp/>

**■***NEW***食品安全委員会（第８40回）の開催について　2021/11/18　発表がありません**

**最近、発表が遅く、締め切りが早くなっております。参加をご希望の場合は、各自ご確認ください**

標記会合を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、本会合については、傍聴者を入れずに開催いたしますが、本会合の様子については、下記４のとおり、web上で動画配信することといたしました。

議事録につきましては、後日、食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>） に掲載いたします。大変御迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほど、何卒よろしくお願いいたします。

記

４．動画視聴について：本会合の様子の動画視聴を希望される方は、11月15日（月）12時までに内閣府共通意見等登録システム（<https://form.cao.go.jp/shokuhin/opinion-1176.html>にて、氏名、所属、電話番号及びメールアドレスを御登録いただきますようお願いいたします。視聴をお申し込みいただいた方には、御登録いただいたメールアドレス宛てに、視聴に必要なURLを、11月16日（火）12時までに御連絡いたします。なお、当日の資料につきましては、同日14時までに食品安全委員会Webサイト

（<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>）に掲載いたします。

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/annai804.html>

<http://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/annai/> 　**←発表がない場合はこちらからご確認ください**

**会議の結果は下記から確認できます**

**★***Link***食品安全委員会　開催実績リンク　開催日時、配付資料、議事録等**

<https://www.fsc.go.jp/iinkai_annai/jisseki.html>

　<https://www.fsc.go.jp/iken-bosyu/pc1_hisiryou_muramidase_030512.html>

**■***NEW***豚肉の低温調理「安全に美味しく食べ物を調理しよう」　2021/11/16**

<https://www.youtube.com/watch?v=kRQ0SZNQ_20>

**■***NEW***「一緒に未来を考える~食品中の放射性物質~」の開催について　2021/11/16**

<https://www.fsc.go.jp/koukan/annai/annai20211116.html>

**■薬剤耐性菌の食品健康影響評価に関する情報　2021/11/2**

<https://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/amr_wg/amr_info.html>

**■***NEW***食品安全関係情報更新（令和3年10月9日から令和3年10月22日）2021/11/8**

[https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from\_year=2021&from\_month=10&from\_day=9&to=struct&to\_year=2021&to\_month=10&to\_day=22&max=100](https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/search?year=&from=struct&from_year=2021&from_month=10&from_day=9&to=struct&to_year=2021&to_month=10&to_day=22&max=100%20)

**４．****<農水省関係>**<https://www.maff.go.jp/>

**■***NEW***オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について　2021/11/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211118.html>

　　農林水産省は、令和3年11月16日（火曜日）、オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

今般、オランダのユトレヒト州の家きん飼養施設において、新たに高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、オランダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

オランダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため令和3年11月16日（火曜日）、該当区域（※1）からの生きた家きん及び液卵の輸入を一時停止（※2）しました。

（※1）オランダ家畜衛生当局が定める家畜衛生単位20区域のうち、本発生が確認された第12番の区域。

（※2） 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

**■***NEW***ハンガリーからの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211118_2.html>

　　農林水産省は、令和3年11月18日（木曜日）、ハンガリーのバーチ・キシュクン県及びチョングラード・チャナード県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ハンガリーのバーチ・キシュクン県の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認され、本発生に伴い設定された制限地域が隣接するチョングラード・チャナード県に及んだ旨、ハンガリー家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

ハンガリー家畜衛生当局の情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月18日（木曜日）、これら2県からの生きた家きん、家きん肉等の輸入を一時停止しました。

**■***NEW***兵庫県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内4例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/11/18**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211118_3.html>

　　兵庫県姫路市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）兵庫県姫路市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（11月17日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211117_19.html>

　　農林水産省は、11月12日（金曜日）に英国のエセックス州から、11月15日（月曜日）に同国のランカシャー州及びノースヨークシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のエセックス州、ランカシャー州及びノースヨークシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月12日（金曜日）にエセックス州から、令和3年11月15日（月曜日）にランカシャー州及びノースヨークシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

**■***NEW***兵庫県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内4例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の開催について　2021/11/17**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211117.html>

本日、兵庫県姫路市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内4例目）されました。

これを受け、農林水産省は、本日9時00分から、「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」を開催し、今後の対応方針について確認します。

「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」は非公開ですが、冒頭のみカメラ撮影が可能です

1.農場の概要

農場所在地：兵庫県姫路市

飼養状況：採卵鶏（約15.5万羽）

2.経緯

（1）昨日（11月16日（火曜日））、兵庫県は、同県姫路市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（11月17日（水曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■***NEW***鹿児島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内3例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/11/16**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211116.html>

　　鹿児島県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N8亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）鹿児島県出水市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（11月15日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N8亜型であることが確認されました。

**■***NEW***鹿児島県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（国内2例目）の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/11/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211115_22.html>

　　鹿児島県出水市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）鹿児島県出水市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（11月13日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N1亜型であることが確認されました。

**■***NEW***鹿児島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内3例目）及び「農林水産省鳥インフルエンザ防疫対策本部」の持ち回り開催について　2021/11/15**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211115.html>

　　本日（11月15日（月曜日））、鹿児島県出水市の採卵鶏農場において、家畜伝染病である高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内3例目）されました。

これを受け、農林水産省は、「農林水産省鳥インフル防疫対策本部」を待ち回りで開催し、今後の対応方針について確認します。

当該農場は、今シーズン国内2例目（11月13日（土曜日））の高病原性鳥インフルエンザが発生した農場から半径3km以内に位置しています。

1.農場の概要

農場所在地：鹿児島県出水市

飼養状況：採卵鶏（約1.1万羽）

2.経緯

（1）鹿児島県は、昨日（11月14日（日曜日））、国内2例目の発生を受け、防疫指針に基づき、発生農場周辺の農場において検査を実施したところ、死亡鶏を確認するととともに、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査で陽性であることが判明。

（2）本日（11月15日（月曜日））、農研機構動物衛生研究部門（注）において、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

**■***NEW***鹿児島県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認（国内2例目）について　2021/11/13**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211113.html>

　　本日（11月13日（土曜日））、鹿児島県出水市の採卵鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認（今シーズン国内2例目）されました。

当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。

なお、我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えております。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：鹿児島県出水市

飼養状況：採卵鶏(約3.9万羽）

2.経緯

（1）昨日（11月12日（金曜日））、鹿児島県は、同県出水市の農場から、異状（まとまって死亡）がみられるとの通報を受け、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（11月13日（土曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

3.今後の対応

総理指示及び「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」等に基づき、以下の措置について万全を期します。

1.（1）当該農場の飼養家きんの殺処分及び焼埋却、

（2）農場から半径3km以内の区域について移動制限区域の設定、

（3）半径3kmから10km以内の区域について搬出制限区域の設定等

　　　必要な防疫措置を迅速かつ的確に実施。

2.移動制限区域内の農場について、速やかに発生状況確認検査を実施。

3.感染拡大防止のため、発生農場周辺の消毒を強化し、主要道路に消毒ポイントを設置。

4.政務を鹿児島県に派遣する等により、鹿児島県と緊密な連携を図る。

5.必要に応じて、食料・農業・農村政策審議会 家畜衛生部会 家きん疾病小委員会を開催し、防疫対策に必要な技術的助言を得る。

6.感染状況、感染経路等を正確に把握し、的確な防疫方針の検討を行えるようにするため、農林水産省等の専門家を現地に派遣。

7.鹿児島県の殺処分・焼埋却等の防疫措置を支援するため、必要に応じ、各地の動物検疫所、家畜改良センター等から「緊急支援チーム」を派遣。

8.「疫学調査チーム」を派遣。

9.全都道府県に対し、改めて注意喚起し、本病の早期発見及び早期通報並びに飼養衛生管理の徹底を指導。

10.関係府省庁と十分連携を図りつつ、生産者、消費者、流通業者等への正確な情報の提供に努める。

**■***NEW***ドイツのメクレンブルク・フォアポンメルン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211111_5.html>

　農林水産省は、令和3年11月9日（火曜日）、ドイツのメクレンブルク・フォアポンメルン州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

ドイツのメクレンブルク・フォアポンメルン州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、ドイツ家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。

2.対応

OIEへの通報を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月9日（火曜日）、メクレンブルク・フォアポンメルン州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和3年10月25日（月曜日）、同国シュレースヴィヒ・ホルシュタイン州での高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生を受け、ドイツ全土からの輸入を停止しています。

**■***NEW***秋田県で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の遺伝子解析及びNA亜型の確定について　2021/11/11**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211111.html>

　秋田県横手市で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜について、動物衛生研究部門が実施した遺伝子解析の結果、高病原性鳥インフルエンザの患畜であることが確認されました。

また、当該高病原性鳥インフルエンザのウイルスについて、NA亜型が判明し、H5N8亜型であることが確認されました。

1.概要

（1）秋田県横手市の農場で確認された高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（11月10日疑似患畜確定)について、動物衛生研究部門（注）が実施した遺伝子解析の結果、高病原性と判断される配列が確認されました。

（2）これを受け、農林水産省は、「高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザに関する特定家畜伝染病防疫指針」に基づき、当該家きんを高病原性鳥インフルエンザの患畜と判定しました。

（3）また、当該高病原性鳥インフルエンザウイルスについて、動物衛生研究部門における検査の結果、NA亜型が判明し、H5N8亜型であることが確認されました。

**■「令和3年度病害虫発生予報第9号」の発表について　2021/11/10**

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/211110_11.html>

**■米国への日本産メロンの輸出が可能となります　2021/11/10**

　米国は日本産メロンの輸入を禁止していましたが、植物検疫当局との協議を重ねた結果、今般植物検疫条件に合意し、11月8日（月曜日）から、輸出が可能となりましたので、お知らせします。

　1.概要

米国は、日本産メロンについて、米国が侵入を警戒する病害虫が我が国で発生していることを理由に、これまで輸入を禁止していました。

農林水産省は、産地からの要望を踏まえ、メロンの輸出が可能となるように、米国の植物検疫当局と技術的協議を積み重ねてきました。その結果、今般、日本産メロンに関する植物検疫条件に合意し、令和3年11月8日付けでこの条件を満たす日本産メロン生果実の輸出が可能となりました。

主な植物検疫条件は以下のとおりです。詳細は別添概要をご覧ください。

(1)植物防疫所による輸出検査を受け、スイカ緑斑モザイクウイルスの付着がないことが確認されること

(2)米国側で輸入検査を受けること

2.参考

米国への輸出を検討される方は、最寄りの植物防疫所にお問い合わせいただくようお願いいたします。

植物防疫所ホームページ

<https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/outline/index.html>

添付資料

米国向け日本産メロン生果実の輸出検疫条件の概要

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/attach/pdf/211110-2.pdf>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/211110.html>

**■秋田県における高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について　2021/11/10**

　　本日（11月10日（水曜日））、秋田県横手市の採卵鶏農場において、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜が確認されました。

当該農場は、農家から通報があった時点から飼養家きん等の移動を自粛しています。

なお、我が国の現状においては、鶏肉や鶏卵を食べることにより、鳥インフルエンザがヒトに感染する可能性はないと考えております。

現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。

1.農場の概要

所在地：秋田県横手市

飼養状況：採卵鶏(約14.3万羽）

2.経緯

（1）昨日（11月9日（火曜日））、秋田県は、同県横手市の農場から、死亡羽数が増加している旨の通報を受けて、当該農場に対し移動の自粛を要請するとともに農場への立入検査を実施。

（2）同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し陽性であることが判明。

（3）本日（11月10日（水曜日））、当該鶏について遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211110.html>

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/9**

　　農林水産省は、11月8日（月曜日）に英国のウォリックシャー州、ウスターシャー州及びグロスターシャー州からの家きん肉等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

英国のウォリックシャー州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認され、本発生に伴い設定された制限地域がウスターシャー州及びグロスターシャー州に及んだ旨、英国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月8日（月曜日）にウォリックシャー州、ウスターシャー州及びグロスターシャー州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは引き続き一時輸入停止措置をしています。

※ 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

令和2年11月4日付けプレスリリース「英国からの生きた家きんの一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201104.html>

令和2年11月27日付けプレスリリース「英国からの生きた家きんに関する一時輸入停止措置のコンパートメント主義を適用した一部解除について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/201127_8.html>

令和3年11月8日付けプレスリリース「英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について」

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211108.html>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211109.html>

**■英国からの家きん肉等の一時輸入停止措置について　2021/11/8**

　　農林水産省は、11月2日（火曜日）に英国のクルイド州、ポーイス州及びシュロップシャー州からの、11月4日（木曜日）に同国のアンガス州からの家きん肉等の一時輸入停止措置をそれぞれ講じました。

1.経緯

英国のクルイド州及びアンガス州の家きん飼養農場において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）の発生が確認された旨、英国家畜衛生当局から国際獣疫事務局（OIE）に通報がありました。 また、クルイド州での発生に伴い設定された制限地域がポーイス州及びシュロップシャー州に及んだ旨、同国家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

OIEへの通報及び英国家畜衛生当局からの情報提供を受けて、同病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月2日（火曜日）にクルイド州、ポーイス州及びシュロップシャー州から、令和3年11月4日（木曜日）にアンガス州からの家きん肉等の輸入を一時停止（※）しました。

（参考）生きた家きんについては、令和2年11月以降、コンパートメント施設以外の施設からは、引き続き一時輸入停止措置をしています。

※ 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211108.html>

**■オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置について　2021/11/5**

　農林水産省は、令和3年11月4日（木曜日）、オランダの一部区域からの生きた家きん等の一時輸入停止措置を講じました。

1.経緯

今般、オランダのフリースラント州の家きん飼養農場において、新たに高病原性鳥インフルエンザ（H5亜型）の発生が確認された旨、オランダ家畜衛生当局から情報提供がありました。

2.対応

オランダ家畜衛生当局からの情報提供を受け、本病の我が国への侵入防止に万全を期するため、令和3年11月4日（木曜日）、該当区域（※1）からの生きた家きん及び液卵の輸入を一時停止（※2）しました。

（※1）オランダ家畜衛生当局が定める家畜衛生単位20区域のうち、本発生が確認された第3番の区域及び本発生に伴い設定された制限地域が及んだ第1番の区域。

（※2） 発生国又は地域から生きた家きん、家きん肉等、家きん卵等の輸入を停止するのは、我が国で飼養されている生きた家きんがウイルスに感染することを防止するためであり、食品衛生のためではありません。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211105.html>

**■フランスのピレネー・アトランティック県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置の解除について　2021/11/5**

　　農林水産省は、今般、フランスのピレネー・アトランティック県における鳥インフルエンザの清浄性を確認したことから、本日、当該県からの生きた家きん、家きん肉等の一時輸入停止措置を解除しました。

1.経緯

フランスのオート・ピレネー県において、高病原性鳥インフルエンザ（H5N8亜型）の発生が確認され、本発生に伴い設定された制限地域がピレネー・アトランティック県に及んだことから、令和3年1月以降、ピレネー・アトランティック県からの生きた家きん、家きん肉等について輸入を一時停止していました。その後、当該県においても高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されました。

2.対応

今般、フランス家畜衛生当局から我が国に提供された鳥インフルエンザの防疫措置応の情報により、発生が確認された当該県の家きんにおける同病の清浄性を確認しました。このため、本日付で当該一時輸入停止措置（※）を解除しました。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211105_2.html>

**■国際原子力機関（IAEA）との共同事業の一環として実施する水産物採取について　2021/11/5**

　　国際原子力機関（IAEA）は、11月10日（水曜日）から11日（木曜日）まで、福島県沖の水産物の採取及び処理の確認を行います。

今回は、国際原子力機関（IAEA）環境研究所の2名に加え、更なる信頼性の確保のため、フランス、韓国、ドイツの第三国の分析機関から各1名の計5名が参加します。

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/press/kenkyu/211105.html>

**■海外貨物検査株式会社における不適正な農産物検査に対する措置について　2021/11/5**

　　農林水産省は、農産物検査法（昭和26年法律第144号。以下「法」という。）に基づく登録検査機関である海外貨物検査株式会社（東京都中央区日本橋兜町15番6号。法人番号5010001040519。以下「海外貨物検査（株）」という。）が、法に違反し、瑕疵ある農産物検査等を実施していたことを確認しました。

このため、本日、海外貨物検査（株）に対し、適正な農産物検査の実施及び法の遵守の徹底等を旨とする法第23条に基づく改善命令を行いました。

1.経過

農林水産省（消費・安全局及び関東農政局）は、令和3年10月11日及び15日に、海外貨物検査（株）に対し、法第31条第2項に基づく立入調査を実施しました。

この結果、海外貨物検査（株）において、少なくとも平成29年7月13日から令和3年8月17日までの間に実需者から検査請求された外国産精米5,921,629キログラム（28件）について、農産物検査法施行規則第6条第2項に定める品位等検査の検査方法による標準計測方法に基づく土砂分析を行うことなく、検査証明書を交付したこと、また、上記の行為について、農産物検査員が内部監査での報告を怠っていたことを確認しました（別表参照）。

2.措置

海外貨物検査（株）が行った上記1の行為について、農産物検査員が不適正な行為であることを認識しながら土砂分析を行わずに検査証明書に数値を記載し交付していたことは、法第13条第1項の規定による検査証明書への記載が不適当である場合に該当し、また、農産物検査員が不適正な行為を認識したにもかかわらず、内部監査での報告を怠っていたことは法第20条第2項に違反するものです（別紙参照）。

このため、法第23条に基づく改善命令を行うこととし、令和3年10月21日に行政手続法第13条第1項第2号の規定に基づき海外貨物検査（株）に対し弁明の機会を付与したところ、同月25日に弁明しない旨の文書の提出がなされたため、本日、農産物検査の方法その他の業務の改善に必要な以下の命令を発出しました。

（改善命令の内容）

(1) 直ちに貴機関において、農産物検査の実施が適正に行われているかを点検し、不適正な行為が確認された場合は、直ちにこれを是正すること。

(2) 今後、実施する全ての農産物検査について、法及び農産物検査業務規程に従い適正に行うよう、貴機関に所属する農産物検査員及び全役職員に対し啓発を行い、その遵守を徹底させること。

(3) 今般の不適正事案の発生原因を究明・分析し、その結果を踏まえ、貴機関における農産物検査の適正な実施に関する責任の所在を明確にし、法令遵守のチェック体制の再構築・強化等の再発防止策を講じること。

また、不適正事案に関与した農産物検査員に農林水産省農産局が実施する業務改善研修を受講させること。

(4) (1)から(3)までに基づき講じた措置について、令和3年12月6日までに農林水産大臣宛てに提出すること。

　　＜添付資料＞

　　別表 検査件数及び検査数量　<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/attach/pdf/211105-1.pdf>

別紙 農産物検査法（抜粋）　<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/attach/pdf/211105-2.pdf>

参考 海外貨物検査株式会社の概要　<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/attach/pdf/211105-3.pdf>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/kansi/211105.html>

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/211102.html>

**５.****[消費者庁関連](#消費者庁関連)**

<https://www.caa.go.jp/>

**「消費者庁」になりすましたTwitter、Facebookアカウントにご注意ください。**

**■***NEW***株式会社エムアンドエムに対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について**

**2021/11/18**

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/026650/>

　消費者庁は、本日、株式会社エムアンドエムに対し、同社が供給する「ファイラマッスルサプリHMB」と称する食品に係る表示について、景品表示法第8条第1項の規定に基づき、課徴金納付命令を発出しました。

　株式会社エムアンドエムに対する景品表示法に基づく課徴金納付命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_211118_1.pdf>

**■***NEW***高齢者の事故を防ぐために　2021/11/17**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_safety/caution/caution\_055/#wearing\_clothes](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_055/%23wearing_clothes)

料理中のこんろの火が袖口に燃え移るなど、何らかの火源から身に着けている衣類に着火する着衣着火により毎年約100人の方が亡くなっています。そのうち8割以上が65歳以上の高齢者です。また、消費者庁・独立行政法人国民生活センターに寄せられた着衣着火の事故情報のうち、約6割が入院を必要とする事故でした。

これから寒くなり、ガスこんろでの鍋料理やストーブなどの暖房機器等で火を扱う機会が増えることが予想されますが、空気の乾燥により火災が発生しやすい季節です。火を扱う際は、以下のことに注意して着衣着火を防ぎましょう。

火に近づきすぎないようにしましょう。手を伸ばしたり、かがんだりすると、意図せず体が火に接近する可能性があります。

火力の調節とこまめな消火を心掛けましょう。調理の際は、炎が鍋底からはみ出さないように気を付けてください。「ながら掃除」などはせず、火のそばで作業をするときは一度消火しましょう。

服装に注意しましょう。袖口やすそが広がっている衣服、ストールなど垂れ下がるものは、火を扱う際には身に着けないようにしましょう。また、衣服の表面が毛羽立った素材は表面フラッシュ(※)にも注意が必要です。

火の周囲にも注意してください。風が吹くような場所は、着火すると燃え広がり大変危険ですまた、引火し易い液体等が付着したままの服で火に近づかないでください。

万が一、着衣着火が起きたら、脱ぐ・叩く・水をかけるなどして早急に消火してください。やけどを負った場合はすぐに水で冷やし、医療機関を受診してください。

火が接しても着火しにくい防炎製品のエプロンやアームカバーなどを使うことは、着衣着火による被害の拡大を防ぐためには有効です。特に高齢者は、燃えにくい防炎製品の着用を検討しましょう。

※衣類の生地の表面に細かい繊維が毛羽立っていると、わずかな炎が接触しただけで毛羽部分に火が着き一瞬のうちに表面に火が走る現象のこと。

消費者庁公表資料

着衣着火に御用心!毎年約100人の方が亡くなっています!-火に近づき過ぎない!火力の調節、適切な服装で事故予防-

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_055/assets/consumer_safety_cms205_211117_01.pdf>

(別添)着衣着火に関するデータ等

<https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_055/assets/consumer_safety_cms205_211117_02.pdf>

**■***NEW***鳥インフルエンザに関する情報について　2021/11/15**

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\_safety/caution/caution\_012/#d211115](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_012/%23d211115)

**■株式会社アクガレージ及びアシスト株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令につい**

**て　2021/11/9**

消費者庁は、本日、株式会社アクガレージ及びアシスト株式会社に対し、同社が供給する「ジュエルアップ」と称する食品及び「モテアンジュ」と称する食品に係る表示について、それぞれ、景品表示法に違反する行為(同法第5条第1号(優良誤認)に該当)が認められたことから、同法第7条第1項の規定に基づき、措置命令を行いました。

　株式会社アクガレージ及びアシスト株式会社に対する景品表示法に基づく措置命令について

<https://www.caa.go.jp/notice/assets/representation_20211109_01.pdf>

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/026513/>

**消費者庁リコール情報サイト**<https://www.recall.caa.go.jp/>

**（回収中か否かに関わらず、だいたい一回の掲載で消去します）**

**★広島国際空港「北海道リッチミルクマリトッツオ」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：2021年12月18日、正：2021年11月18日）　2021/11/18**

**★奈良橋醸造「米糀」 - 返金／回収　異種のカビの発生　2021/11/18**

**★だんだん食品「とみぽんゆずごまドレッシング、とみぽんじゃばらゆずごまドレッシング」 - 返金／回収　アレルゲン「卵」「乳成分」の表示欠落　2021/11/18**

**★アクシアルリテイリング「ビアソーセージ」 - 返金／回収　消費期限の誤表示（誤：2021年12月8日、正：2021年11月18日）　2021/11/18**

**★京都吉兆「本さざなみ煮（柔らかめ 袋）」 - 返金／回収　カビによる汚染　2021/11/17**

**★道水産業「サンセール 塩漬中国産胡瓜」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2021.03、正：2022.03）　2021/11/17**

**★神奈川ロピア（ロピアららぽーと海老名店）「生カキ（広島産）」 - 返金／回収　加熱用と表示しなければならないところ、誤って生食用と表示　2021/11/17**

**★ワーカーズ・コレクティブ凡「はちみつとレモンシロップ」 - 返金／回収　農薬グリホサ-トが食品衛生法で定める一律基準値0.01ppmを超える値0.03ppmが検出されたため　2021/11/16**

**★栗駒ポートリー「鶏卵 Lサイズ」 - 返金／回収　賞味期限表示の誤記載（正：21.11.19、誤：21.12.19）　2021/11/16**

**★モンテール「たっぷりーむ・ミルク&カスタード」 - 交換／回収　製品背面のシール不良のため、異物の混入やカビ発生の可能性あり　2021/11/15**

**★三友食品「本格あたりめ」 - 交換／回収　カビによる汚染　2021/11/15**

**★ハセガワ「モロッコヨーグルスーパー80」 - 返金／回収　賞味期限印字の欠落（賞味期限2022年4月4日）　2021/11/12**

**★仁々木「和栗のどら焼き」 - 返金／回収　アレルゲン「りんご」の表示欠落　2021/11/12**

**★マルハニチロ「フィッシュソーセージ&チーズかまぼこ」 - 返金／回収　賞味期限の誤表示（誤：2202.03.17、正：2022.03.17）　2021/11/12**

**★プリマハム「セブンプレミアム 特製タレで煮込んだ豚角煮」 - 返金／回収　一部商品で誤って「サラダチキン」を包装したものがあることが判明（アレルゲン「鶏肉」の表示欠落）　2021/11/12**

**★お菓子処山口堂「すはま（州浜）」 - 返金／回収　保存料（ソルビン酸）の誤使用、食用色素の表示（番号）の誤表示　2021/11/12**

**★和菓子司 徳田盛華堂「百万石大名きんつば」 - 返金／回収 アレルゲン「小麦」の表示欠落　2021/11/12**

**★ドン・キホーテ（MEGAドン・キホーテ津桜橋店）「なんこつ入り鶏生だんご」 - 返金／回収　アレルゲン表示、原材料表示、栄養成分表示の欠落　2021/11/11**

**６.** **[食中毒・感染症](#食中毒・感染症)**

**■***NEW***インフルエンザ（総合ページ）**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/infulenza/index.html>

**★細菌性食中毒★**

**■食中毒事件が発生しました　2021/11/18　岡山県津山市**

**調査中**

<https://www.pref.okayama.jp/uploaded/attachment/304985.pdf>

　事件の概要

令和３年11月16日（火）午前８時45分頃、津山市内の飲食店から美作保健所へ、当該飲食店が調製・販売した弁当を喫食し、その後嘔吐、下痢等の症状を呈している者がいる旨の通報があった。

同保健所が調査した結果、当該施設が調製・販売した弁当89食を11月15日に喫食した者のうち、少なくとも15名が嘔吐、下痢等の症状を呈していることが判明した。

医師から食中毒の届出があり、患者の共通食が当該飲食店で調製した弁当のみであることから、同保健所はこれを原因とする食中毒と断定し、食品衛生法に基づき４日間の営業停止処分とした。

なお、患者の容態は快方に向かっている。調査者数　82名（男性 58名、女性 24名） 年齢 20歳～90歳代

患者数　15名（男性 12名、女性 ３名） 年齢 20歳～60歳代入院者数　1名

初発患者発症年月日　令和３年11月15日（月）午後３時半頃 年齢 50歳代 男性

患者の症状　吐き気、嘔吐、下痢 等

原因と推定される食品の調整者　施設名称：あば交流館　業 種 ：飲食店営業患者の共通食

　天ぷら（えび、サツマイモ、かぼちゃ、レンコン、なす、シシトウ）、山菜おこわ、漬け物（大根）、牛肉の玉ねぎ煮、ほうれん草のおひたし、だし巻き卵、ロールキャベツ、煮物（がんも、えび、サトイモ、ニンジン、ししとう、こんにゃく、かぼちゃ）、ミニトマト、白菜、レタス

原因食品 原因物質　食材、患者便、従事者便、施設内ふきとり検査により調査中

行政措置　美作保健所は令和３年11月18日から11月21日まで４日間の営業停止処分とした。（11月16日は営業自粛、11月17日は休館日）

**■近畿大学工学部で集団食中毒か　食堂利用の学生ら５６人が発熱や下痢　広島県東広島市**

**11/16(火) 19:50配信　テレビ新広島**

**サルモネラ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/4c687e62864f490dd77cfa7e0c234a325b2eea36>

**令和３年集団食中毒発生状況（速報）　広島県東広島市**

**サルモネラ**

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/460876.pdf>

発生日　2021/11/11

発生場所　東広島市

喫食者数　調査中

有症者数　56名

原因食品　11月10日昼に提供された食事（推定）

病因物質　調査中

原因施設　飲食店

症状　発熱，下痢等

事件概要　大学内の食堂を利用した者から有症者が発生

**■鳥焼肉店で食中毒 小中学生ら16人が下痢や発熱し全員の便から細菌「カンピロバクター」店を営業禁止に　11/18(木) 16:07配信　東海テレビ****三重県鈴鹿市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/6b0b00347963fbe896ce59220648a6030b378db1>

**令和３年１１月１８日発表分　三重県鈴鹿市**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.mie.lg.jp/SHOKUSEI/HP/70294044702.htm>

１　概要

　令和３年１１月１２日（金）、医療機関から津保健所へ、下痢、発熱等の食中毒様症状を呈した患者を診察した旨の連絡がありました。津保健所が調査したところ、当該患者は１１月６日（土）の夕食に鈴鹿市内の飲食店を複数名で利用しており、他にも同様の症状を呈している利用者がいることが分かりました。

　　当該飲食店を管轄する鈴鹿保健所が調査したところ、１１月６日（土）の夕食に利用した１グループ４８名中１６名が同様の症状を呈していることが判明しました。

　鈴鹿保健所は、有症者に共通する食事が他にないこと、複数の有症者の便からカンピロバクター・ジェジュニが検出されたこと、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、当該飲食店が提供した食事が原因の食中毒と断定し、本日付けで当該飲食店を営業禁止処分としました。

　なお、有症者は全員快方に向かっています。

２　発病状況

１）喫食者　４８名中　有症者数　１６名（入院患者０名）

２）有症者の年齢構成



　３）有症者　　　最低年齢（１２歳、女）　最高年齢（４７歳、男）

４）主な症状　　下痢（水様性３～２０回）、腹痛、発熱（３７．０℃～４０．３℃）

５）発病日時　　令和３年１１月８日（月）午前７時から同月１０日（水）午前８時

３　原因施設

屋　号　もりもり食堂（もりもりしょくどう）

業　種　飲食店営業

４　原因食事

１）令和３年１１月６日（土）夕食

２）原因物質　　　カンピロバクター・ジェジュニ

３）主なメニュー　鳥のあみ焼き（若どり、砂肝等）、ささみタタキ、鳥から揚げ、とりテキ、

　　　　　　　　　　　だし巻き、枝豆、サラダ等

　　　　※原因食品は、調査中です。

**■千葉市の居酒屋で食中毒　唐揚げや鶏レバーなど食べた7人に症状　3人からカンピロバクター検出　11/18(木) 11:53配信　千葉県千葉市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9542b4dc6e17f8f3b6408e907b92867a4ac8ae3c>

**千葉市で発生した食中毒のお知らせ(11月17日公表)　千葉県千葉市**

**カンピロバクター**

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/iryoeisei/seikatsueisei/offender_6.html>

千葉市内において食中毒事件が発生しましたので、営業者等に対して警鐘を発するため、以下のとおりお知らせします。

1.概要

令和3年11月10日(水曜日)、市内飲食店の利用者から「11月6日(土曜日)午後7時30分頃から職場の同僚8人で市内飲食店を利用したところ、8日(月曜日)午前9時頃から4人が発熱、腹痛、下痢等を呈した。」旨の通報が市保健所にあった。

調査の結果、11月6日(土曜日)に市内飲食店で調理、提供された食事を喫食した8人のうち7人が、発熱、腹痛、下痢等の食中毒様症状を呈していたことが判明した。

患者の検便3検体からカンピロバクターが検出されたこと、患者の症状及び発症までの潜伏期間が同菌によるものと一致したこと、同菌が原因となりうる患者の共通の食事が当該飲食店で提供された食事に限られていることから、市保健所長は11月17日(水曜日)、当該飲食店で調理、提供された食事を原因とする食中毒と断定した。

2.発生年月日　令和3年11月8日午前9時頃

3.喫食者数　8人（11月17日現在）

4.患者数　7人(うち入院0人）（11月17日現在）

5.主な症状　発熱、腹痛、下痢等

6.原因施設

屋号：個室居酒屋　鶏の吉助　千葉駅前店

業種：飲食店営業

7.原因食品　令和3年11月6日(土曜日)に当該施設で調理、提供された食事

8.病因物質　カンピロバクター

9.措置　営業停止（11月17日（水曜日）から11月19日（金曜日）まで（3日間））

**■鹿児島・薩摩川内市の旅館で食中毒発生　２日間の営業停止処分**

**11/12(金) 20:26配信　鹿児島ニュースＫＴＳ　鹿児島県薩摩川内市**

**カンピロバクター**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/baa4f068d89e3aeb6e88b0336dd152af2b546f1e>

**川薩保健所管内で発生した食中毒について　2021/11/12　鹿児島県薩摩川内市**

**カンピロバクター**

<http://www.pref.kagoshima.jp/ae09/kenko-fukushi/yakuji-eisei/syokuhin/syokutyuudoku/h310326nishinoomote.html>

1原因施設

営業所名称　八重荘

営業の種類　飲食店営業

2原因食品　当該施設において提供された食事

3病因物質　カンピロバクター・ジェジュニ

4行政処分（令和3年11月12日付け川薩保健所長名）

食品衛生法第6条第3号違反による営業停止命令

令和3年11月13日から令和3年11月14日までの2日間(なお，令和3年11月8日から令和3年11月12日までは営業を自粛している)

5食中毒と断定した主な理由

4名の患者便から，カンピロバクター・ジェジュニが検出された。

患者の臨床症状(下痢，腹痛，発熱等)がカンピロバクター食中毒の症状と一致している。

患者の共通食は，この飲食店が提供した食事に限られている。

6患者の発生状況

テーブル

自動的に生成された説明

**■令和3年和歌山県食中毒発生状況　和歌山県御坊市　2021/10/27**

**カンピロバクター**

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031600/d00208925.html>

発生年月日　2021/10/27

　発生場所　御坊市

　摂食者　2人

　患者数　2人

　原因食品　令和3年10月26日（火）午後6時頃に原因施設で提供された食事

　病因物質　カンピロバクター

　原因施設の種別　飲食店

**■居酒屋で食中毒　１１人が症状を訴え、１人が入院　サルモネラ属菌を検出**

**11/12(金) 19:01配信　岐阜新聞Ｗｅｂ　岐阜県羽島市**

**サルモネラ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/d5887a6b95e4e5358d3506e731318870a11f3a47> <https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/275457.pdf>

**食中毒の発生（令和3年11月12日）　岐阜県羽島市**

**サルモネラ**

<https://www.pref.gifu.lg.jp/site/pressrelease/187200.html>

食中毒の発生について

1　探知

　　令和3年11月8日（月曜日）17時頃、海津市内の事業所から「11月2日（火曜日）に羽島市内の飲食店を利用した複数人が腹痛、下痢等の症状を呈している。」旨、岐阜保健所へ申し出があった。

2　概要

　岐阜保健所が調査したところ、11月2日（火曜日）夜に飲食店「旬鮮　えんがわ家（しゅんせん　えんがわや）」で食事をした1グループ11人全員が、11月3日（水曜日）から5日（金曜日）にかけて腹痛、下痢、発熱等の食中毒症状を呈し、4人が医療機関を受診、うち1人が入院していたことが判明した。

　岐阜保健所では、患者らに共通する食事は当該施設が調理した食品に限られること、患者らの検便からサルモネラ属菌が検出されたこと、患者を診察した医師から食中毒の届け出があったことから、当該施設を原因とする食中毒と断定した。

なお、患者らは入院した者も含め、いずれも快方に向かっている。

3　発生状況

摂食者数　11人

有症者数　11人　（男性　10人、女性　1人）　22歳　から　66歳

受診者数　　4人　（入院　1人）

摂食日時　令和3年11月2日（火曜日）19時00分

発病日時　令和3年11月3日（水曜日）2時00分から11月5日（金曜日）18時00分

主な症状　腹痛、下痢、発熱等

4　主なメニュー

　ごま豆腐、串焼き（牛カルビ、牛タン、とり皮等）、刺身（マグロ、ヤリイカ、甘エビ等）、ブリ照り焼き、揚げもの（レンコン、サツマイモ、エビ等）、酢牡蠣、お茶漬け、ゆり根まんじゅう等

5　原因食品　調査中

6　病因物質　サルモネラ属菌

7　原因施設

　屋号：旬鮮　えんがわ家（しゅんせん　えんがわや）

　業種：飲食店営業（居酒屋）

8　検査

　岐阜保健所では、引続き患者ら及び従業員の検便等の検査を実施し、原因究明に当たっている。

9　措置

　岐阜保健所では、当該施設を11月12日（金曜日）から食品衛生法に基づく営業禁止処分とした。（再発防止措置が講じられた後に解除する。）

テーブル

自動的に生成された説明

**★ウイルスによる食中毒★**

**■営業施設に対する行政処分　2021/11/18　台東区**

**ノロウイルス**

<https://www.city.taito.lg.jp/kenkohukusi/kenkokikikanrieisei/food/syokuhineisei/ihansha.html>

　公表年月日　令和3年11月18日

施設の名称　鮨 尽誠

業種等　飲食店営業

（食品衛生法等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備及び経過措置に関する政令（令和元年政令第123号）附則第2条の規定による従前の営業）

不利益処分等を行った理由 食中毒

（食品衛生法等の一部を改正する法律（平成30年法律第46号）第2条の規定による改正前の食品衛生法（昭和22年法律第233号。）第6条第3号違反により、第55条を適用）

不利益処分等の内容　令和3年11月18日から7日間の営業停止命令

原因食品　11月4日（木曜日）および11月7日（日曜日）に「鮨　尽誠」で提供された食事

病因物質　ノロウイルス

患者数 2グループ　8名

**★寄生虫による食中毒★**

**★自然毒による食中毒★**

**■自家栽培シイタケのつもりが…鍋で一家5人が食中毒　原木に毒キノコ「ツキヨタケ」が自生**

**11/18(木) 8:00配信　福井新聞ＯＮＬＩＮＥ　福井県福井市**

**植物製自然毒　ツキヨタケ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/db25a3db214ccded522e7d887621e1679d8d645d>

**■令和３年特異な食中毒発生状況（速報）　2021/11/10　広島県呉市動物性自然毒　ふぐ**

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/460436.pdf>

　発生年月日　2021/11/10

　発生場所　呉市

　喫食者数　１名

　有症者数　１名

　死者数　０名

　原因食品　フグ（種類不明）

　病因物質　テトロドトキシン（推定）原因施設　家庭

　症状　しびれ（四肢），ふらつき（歩行障害），筋肉痛，吐き気事件概要　自分で釣ったフグを調理し喫食

**★化学物質による食中毒★**

**★細菌による感染症★**

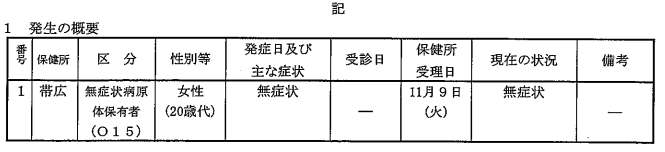
**■（週報）腸管出血性大腸菌感染症（３類感染症）の発生について　2021/11/16**

**感染症　腸管出血性大腸菌**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/6/7/8/3/4/5/_/031116-04tyoukan.pdf>

帯広保健所

　令和３年第45週　11月8日～11月14日に道立保健所管内で腸管出血性大腸菌感染症（ベロ毒素産生）が発生したのでお知らせします



**■津市とことめの里一志内一志温泉やすらぎの湯における レジオネラ属菌検出による臨時休業について　2021/11/12　三重県津市**

**感染症　レジオネラ**

<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/koho/houdou/202111111.pdf>

　このことについて、その詳細は下記のとおりです。

記

１ 臨時休業期間 令和３年１２月中旬まで（予定）

２ 場所　津市とことめの里一志内一志温泉やすらぎの湯

３ 臨時休業施設　一志温泉やすらぎの湯・福祉浴・レストハウス秋桜

４ 経過

１０月３０日（土）

　レジオネラ症患者の行動履歴にとことめの里一志内一志温泉やすらぎの湯の利用があったことから、施設を管轄する三重県津保健所から施設の調査の連絡が入る。

１０月３１日（日）

　　　三重県津保健所による施設調査及び検体採取が実施される。

１１月８日（月）

三重県津保健所から、レジオネラ属菌が検出される可能性があることの連絡を受ける。

一志温泉やすらぎの湯の設備洗浄を決定し準備に入る。

１１月９日（火）

設備洗浄を開始。

１１月９日から１１月２４日までの予定で、源泉タンク・配管・ろ過機・浴槽を洗浄。

１１月１０日（水）

三重県津保健所からレジオネラ属菌が検出の報告を受ける。

※なお、一志温泉やすらぎの湯は、温泉設備故障のため、１０月２９日（金）から臨時休業となっており、この間の利用者はありません。

５ 今後の対応

　　設備の洗浄終了後、水質検査を行い、安全性が確保されたのち再開します。

（再開は１２月中旬を予定）

今後も、利用者に安心してご利用いただける施設運営に努めてまいります

**★ウイルスによる感染症★**

**■（速報）感染性胃腸炎患者の集団発生について　2021/11/15　北海道**

**感染症　ノロウイルス**

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/4/6/7/8/3/5/7/_/031115-06ityou.pdf>

　岩見沢保健所　保育所：39名　ノロウイルス

　1.発生の探知　2021/11/１0に岩見沢保健所管内の保育所から、複数の園児及び職員がおう吐、発熱などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

　2.発生の概要

　　岩見沢保健所管内の保育児をの園児36名及び職員3名の計39名が、11月8日から11月15日にかけておう吐、下痢。発熱などの症状を呈し、うち２1名が医療機関を受診した。（入院したものはいない）

　3.現在の状況　11月15日現在、症状は回復もしくは快方に向かっている

　4.経過

　　11月8日～11月15日　おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

　　11月9日～11月11日　医療機関及び保健所において有症者11名の便を検査した結果、6名からノロウイルスを検出

11月10日　　　　　　　保育所から保健所に通報

　5.感染経路　現在調査中

**★その他の感染症★**

**★違反食品★**

**★その他関連ニュース★**

**■Ｏ157、10歳未満の２人　熊本県感染症情報**

**11/18(木) 20:59配信　熊本日日新聞　熊本県**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/9a0d0b5af1b7a334818e89b384c1f5918437acfe>

**■【感染症情報】感染性胃腸炎が2週連続で増加 - RSウイルスは10週連続減少、手足口病は横ばい　11/16(火) 16:20配信　　医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/cc57f0139dc134ca4cd4f0065d2f6e7441dae28f>

**■インフルエンザ、9道府県から計23人の報告 - 厚労省が1－7日の1週間の発生状況を公表**

**11/12(金) 15:15配信****医療介護ＣＢニュース**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/f808e2f371ceed193021d3738a5e4364413f1ab1>

**■【感染症ニュース】梅毒 国内で20代女性に感染ひろがる 関東は注意 特に気をつけてほしいのは　11/12(金) 7:00配信　感染症・予防接種ナビ**

<https://news.yahoo.co.jp/articles/40791b991061f2c92e3e884969b797a1dfc975fe>

**7.** **[新型コロナウイルス情報](#新型コロナウイルス情報)**

**★新型コロナウイルス特集データ★** **新型コロナウイルス情報はホームページに移行しました　今後は行政情報については毎日　コロナの発生率については週一回の更新になります**

**★***Link*　**厚生科学審議会 (予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会)**

<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-kousei_284075.html>